

## 最近のプリオン専門調査会の議論の概要

### <第15回会合>

#### 1. 日時及び場所

平成16年10月26日(火) 10:00～  
食品安全委員会 大会議室

#### 2. 議事 我が国の牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しについて

我が国の牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに関する厚生労働省、農林水産省からの評価要請について、事務局から説明の後、質疑応答を行った。

その結果、今後、専門委員から提出を要請された資料等を基に、次回以降継続して審議することになった。

(参考)

#### 評価要請の要点

##### 1 BSE検査

- ・ と畜場におけるBSE検査対象月齢の見直し  
検査対象を21ヶ月齢以上とする。必要な経過措置を講じる。
- ・ BSE検査技術の高度化について研究開発

##### 2 特定危険部位(SRM)の除去・交差汚染防止

- ・ と畜場におけるSRM管理状況の実態調査の定期的実施
- ・ SRMによる枝肉等の汚染防止措置の評価方法について研究開発

##### 3 飼料規制の実効性確保の強化

- ・ 肉骨粉は既に輸入禁止となっているが、更に、飼料の輸入、販売、使用段階における検査・指導など交差汚染防止対策の強化  
(輸入飼料の原材料及び飼料小売店の届出義務)
- ・ 個体識別制度、死亡牛検査の確実な実施

##### 4 調査研究の推進

- ・ 牛等の接種実験など調査研究の一層の推進

## <第16回会合>

### 1. 日時及び場所

平成16年11月16日(火) 15:00~  
食品安全委員会 大会議室

### 2. 議事 我が国の牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しについて

我が国のBSE対策に関するリスク評価の今後の方向性について議論を行った。また、厚生労働省、農林水産省からの提出資料に対する質疑を行った。なお、専門委員より末梢神経及び副腎から異常プリオンたんぱく質が検出された知見の紹介を行った。

その結果、専門委員から提出を追加要請された資料等を基に、次回以降継続して審議されることとなった。